



2024 年 6 月 26 日

第 3534 回例会 (今年度 40 回)

例会場: 岡崎ニューグランドホテル

「一年を振り返って」 同前 仁史 会長

前回の会長挨拶

この前の日曜日に今年度最後の RCG が開催されました。天気にも恵まれ、参加頂いた会員の皆さまと楽しい一日をすごすことができました。今年度で長い間 RCG 幹事をお務め頂いた、佐野仁信さんと加藤雄一郎さんが交代されることになり、新年度からは太田文人さんと石川一郎さんが RCG 幹事を務められることになりました。佐野さん、加藤さんお世話になりありがとうございました。

今月は岡崎 RC 奨学基金月間です。

岡崎 RC 奨学基金は当クラブ独自の奨学基金で、内藤卯三郎さん、中西正雄さんのご遺族から 1978 年に 150 万円のご寄付があり、これを 500 万円まで積み上げて奨学基金に育てようと理事会決議され、創立 30 周年の記念事業として設立されました。昨年度末には 2,848 万円の残高があり、事業利用金額の累計は 4,474 万円となっています。岡崎ロータリークラブが青少年を対象とした奉仕事業を機動的に行うことができるのはこの奨学基金のおかげです。今年度も附属岡崎小学校のバリス校事業、財団の地区補助金を活用した岡崎市社会福祉協議会の子供の生活学習支援事業やオカザえもののパラ芸術祭の協賛などに使わせて頂きました。本年度は 100 万円のご寄付をいただくことを目標に杉田委員長はじめ委員会の皆さまに頑張ってもらっています。月間に因んで皆様のご厚志を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

先週の幹事報告にもありましたが、WASH プロジェクト残金の 203,000 円は理事会で協議・審議の結果、仮受け金として次年度の本会計に残し、今後の国際奉仕事業に機動的に引き当てることのできるような形で処理させて頂くことになりました。したがって本件については全員協議会で審議することは取りやめさせていただきます。

前回の卓話

「私とロータリー」

浅井歯科医院 院長 浅井章さん

自己紹介を兼ねて私とロータリーの関わりをお話します。
竜美丘にて歯科医院を開業しています。岡崎ロータリーに平成 5 年 7 月に入会、来月で 31 年となります。杉山光先生、杉浦壽康先生に推薦していただきました。入会時は 39 歳で下から数番目に若い会員でした。当時の平均年齢は 60 歳、父親と同じくらいの大先輩方ばかりで、緊張しながら例会に出席していました。最初の配属はローターアクト委員会でしたが、ローターアクト会員は 30 歳までなので、年齢も近く、居心地良くローターアクトの例会に出席していました。数年経ち、親睦事業への参加や委員会活動を通じ、会員の方々との交流も進み、例会の居心地も良くなりました。30 年以上も経つと毎週水曜日に例会へ出席することは生活の一部となりました。



入会した時は、父親も会員でしたので数年間は親子会員として出席していました。父親が毎週水曜日の例会に、楽しそうに出かける姿を見て、年を取っていくと楽しくなるのかな～と思っていましたが、実際自分がそんな年齢になると例会で会員の皆さんと顔を合わせて時間を過ごすことが楽しみとなり、生活の一部となりました。委員会以外に同好会でもメンバーの方との交流がありました。一番、濃密な時間を過ごしたのは岳人会のメンバーに加えさせてもらい、山へ行ったことです。

加藤博巳さんを中心に、最初は蓼科山、次はその約1か月後に西穂高岳、これは試験登山でした。河野さんもご一緒でした。皆さんお酒が好きでしたので、山小屋のお酒が全て無くなってしまうほどでした。試験登山も合格できたので、その後も度々山に連れて行ってもらいました。槍ヶ岳をチャレンジした際に、パーティーの1人が体調不良となってしまう、山頂目前で断念しました。しかし、悔しかったので翌年、南クラブの中根弁護士とテントを背負い、再チャレンジし、見事に登山に成功しました。

もう1つ、ロータリーメンバーと出会ってから始めた趣味はラジコン飛行機です。矢作川の河川敷で練習していました。

その他、個人的な趣味としてカーレースを行っていました。今はクラシックカーに乗って楽しんでます。

親睦と奉仕がロータリー活動の両輪ですが、奉仕の精神の中で職業奉仕の考えに触れたことが大きかったと思います。開業して40年経ちましたが、仕事に対する信条として、ロータリーの精神に基づき「利己と利他の調和」のもと、治療に来られる患者さんと「満足と感謝の交換」を通じて、お互いの小さな信頼関係を結ぶことが自身の幸せと感じています。

皆様もロータリークラブで居場所を見つけ、ロータリーの意義を見つけ、長くロータリーライフを楽しんでください。

「自己紹介」

人間環境大学附属岡崎高等学校 副校長兼事務長 横山博文さん

まずは自分自身についてですが、1969年昭和44年生まれの55歳です。愛媛県松山市の郊外に生まれ、3年前にここ岡崎市に単身赴任するまでは、大学も仕事も松山市外に出たことがなく、今回初めての県外生活を経験しております。高校は松山商業高校に進学しました。部活動は応援部のマネージャーをメインに、当時は好きだった絵を描きたいと思い美術部にも所属し、また、先生に頼まれて高校2年生の時に経済調査部という部活動に所属していました。大学は4人兄弟の末っ子で、親からは地元の大学なら行ってもよい、と常々言われていたため、現松山大学に進学しました。商業高校でしたので、受験は国語・英語・簿記の3教科で受験しましたが、簿記の問題で出題されていた試算表と貸借対照表・損益計算書の数字が合わず、落ちたと思って昼の弁当が食べられなかった記憶があります。



大学生活は学費を稼ぐために、建築関係の肉体労働のアルバイトをメインに、2～3つ掛け持ちしながら、アルバイト三昧の大学生活でしたが、無事4年間で卒業し、アルバイト先の建築会社の社長さんがカトリックの信者であったことから、その方に勧められるまま、松山市内にある聖カタリナ学園に教科商業の教員として就職しました。当時は女子高で聖カタリナ女子高校という校名の学校でしたが、姉妹校として、ここ岡崎市に光ヶ丘女子高校、幼稚園・高校・大学を有するカトリックの学校法人でした。約30年務めた後、令和3年1月より河原学園にこれも人生初の転職を経験し、2月より岡崎にやってきました。

趣味は読書、料理、野菜作りですが、最近読んだ本の中では、蒲郡ご出身の作家、宮城谷昌光さんの「風は山河より」を読み、ここ岡崎の歴史や当時まだ松平と名乗っていた徳川家とその家臣、三河武士のことなどを知り、深く感銘を受けました。今では私のウォーキングコースの定番の一つは大樹寺・西光寺ルートになっております。

ここからは河原学園とその河原学園が引き継いだ旧岡崎学園のことについて、少し触れてまいります。河原学園は愛媛県松山市に本部を置く学校法人です。創設者の河原次瞭学園長は御年 86 歳ではありますが、現役で活躍しておる初代創設者です。専門学校の経営が長かったのですが、現在では幼稚園・高校・大学も運営する、在籍する児童・学生総数約 1 万人規模の学校法人になっております。本校は、現在では 3 年前に校名変更し、人間環境大学附属岡崎高校と名乗っておりますが、それ以前は、岡崎学園高校、通称「岡学」としての愛称で呼ばれていた時代が長く、ここにいらっしゃる多くの方がその校名になじみのある方々と思います。その岡崎学園高校を運営していたのが、学校法人 岡崎学園です。1906 年 明治 39 年に田原町出身の白井こう女史によって創立された学校法人です。少し話を広げますと、ほぼ同時期に隣の安城市に寺部だい女子によって安城学園が創立されており、時を同じくして岡崎と安城の地に、女子に裁縫技術を身に付けさせ、自立した女性を育てようと立ち上がった女性がいたということです。その後、岡崎学園は順調に発展を続け、2006 年 平成 18 年に 100 周年を迎え、河原学園に代わっての 2026 年 令和 8 年には 120 周年を迎える予定です。もう少し岡崎学園について付け加えますと、創立時の裁縫女学校から始まり、高校・短大・四年制大学・更には一時期中学校も有する、岡崎随一の学校法人として地域の皆様に愛され、貢献する学校法人でありました。白井家 3 代、こう女史に始まり、2 代目武夫氏、3 代目の道義氏と続いたわけですが、いかに地域に愛され、貢献されたかは、白井家 3 代の方々の、こう女史の岡崎市名誉市民の称号に始まり、輝かしい叙位叙勲に象徴されております。しかしながら、少子化をはじめとする私立学校を取り巻く環境が厳しさを増す中、幾多の経営の波に翻弄される中で、紆余曲折を経て、2014 年 平成 26 年に河原学園との合併を経て、現在に至っております。その間、岡崎の名士と呼ばれる服部良男氏にも理事長に就任頂くなど、旧岡崎学園と歴史と伝統ある岡崎ロータリークラブの関りを紐解くと、第 50 代の会長に白井道義氏が、そして第 60 代会長に服部良男氏が就任にされており、また、伊藤公正さんには岡崎学園時代に長く学校法人の理事・監事としてご就任頂いており、その関係の深さを窺い知ることができます。併せて、本校のインターアクトクラブの創設は古く、40 年近く前の資料を見てもその活動の痕跡を見つけることができ、当時はまだ珍しかった英語教育・国際教育にいかに関心の方が先見の明をもって取り組まれたかを知ることができます。

現在の本校の校訓も誠・愛と旧の岡崎学園時代と変わっておらず、それに河原学園の感謝の心を学是として加えただけで、教育目標・教育方針も変わっておらず、いかに旧の岡崎学園 白井家の方々が高邁な理想の元、ここ岡崎の若人を確たる信念に基づき、導き、育てようとしていたかがよくわかります。私自身は歴史の渦中にいたわけではありませんが、過去には 2 つの学校法人には深い溝があったことも事実です。河原学園に合併してから今年で丁度 10 年を迎えたわけですが、過去の歴史と自らが置かれた現在の諸々を知るにつけ私自身に求められる役割は、旧の岡崎学園と河原学園の良き接着剤となり、旧の岡崎学園の上に継がれた河原学園が岡崎の地で愛され、貢献する学校法人となるための懸け橋になることであり、ここ岡崎の発展を引き継ぐ次世代の若人を育てることであると、強く感じております。

今年度も 267 名の入学者を迎え、全校生徒 800 名余りのうち、8 割を超える生徒が地元、岡崎市内の中学校出身者です。これからも地域から愛され、必要とされる学校として、また、面倒見の良い学校としての役割はもちろん果たしつつ、岡崎市の発展に寄与できる市民の育成を目標に、一つ頭抜けた、突き抜けた教育の実践を目指し、学校の元気が地域の元気につながるような学校づくりを進めて参りたいと思っております。今後も引き続きこの場にいらっしゃる皆様の温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

[会長報告]

1. 6 月 16 日（日）ロータリー財団学友会総会がガバナー事務所にて開催され、地区資金推進委員会 宮田勇人副委員長が出席されました。お疲れ様でした。
2. 6 月 18 日（火）第 7 回公共イメージ向上委員会が舞鶴館にて開催され、地区公共イメージ向上委員会 加藤雄一郎委員が出席されました。お疲れ様でした。
3. 本日よりご入会の睦谷泰秀さんのご紹介を蜂須賀利雄さんをお願いします。入会証をお渡しいたします。

[幹事報告]

1. 7 月 18 日（木）から 9 月 23 日（月）まで愛知県美術館で「アブソリュート・チェアーズ」が開催されます。招待券が 2 枚届いております。希望の方は先着順でお渡しいたしますので事務局まで申し付けください。

[次年度幹事報告]

1. 7 月 3 日（水）13 時 40 分より第 1 回理事会が岡崎ニューグランドホテルにて開催されます。次年度役員・理事の方はご出席をよろしくお願いいたします。
2. 7 月 3 日 2024-25 年度第 1 回の例会になります。第 1 回例会にて全員協議会を開催いたします。2024-25 年度の予算についてご承認を諮らせていただく場となりますので会員の皆様にはご出席をよろしくお願いいたします。

[委員会報告]

- ① 前会長・前副会長・前幹事慰労会 案内・・・次年度親睦活動委員会 菅井竜司委員長

7 月 3 日（水）例会のご案内 ：場所 岡崎ニューグランドホテル

「全員協議会・会長方針・予算承認」 酒部 圭司会長

岡崎ローターアクトクラブご案内：7 月 4 日（木）新年度の活動発表